



長野県木材青壮年団体連合会



山の大切な役割

地球環境

MEMO

- 山はいろんな木の集まり。
- 木は、二酸化炭素を吸って酸素を吐き出す。
- 樹齢10~50年くらいの木がより多くの二酸化炭素を吸う。
- 酸素は人間が生きる(呼吸する)ために必要なもの。
- 酸素がなければ、人間を含む生物は生きてはいけなくなる。
- 植物(木)の光合成と生物の呼吸がバランスよく成り立つことで、地球環境が守られている。
- 酸素はオゾン(O₃)の原料でもある。

木の働きで、僕たちが必要な酸素も保たれているんだね♪



森林がないと

森林がなければ、雨のたびに大量の土砂が流れ出して、土砂崩れが発生することにも…。

森林があると…

森林があると、落葉や落枝で地表がおおわれて草などが生えるため、地面が直接雨水に打たれないため、土砂崩れが起こりにくくなります。

山の大切な役割 災害防止

MEMO

山にある木には、地中の奥深くまで根っこがあり、水を蓄えることができます。

山は、水を蓄えることで、**土砂崩れ、洪水等の災害を防ぐ役割**を果たしています。また、山は**水を綺麗にする機能**を持っています。

※現在の山は、主に人工造林と天然更新で作られています。

森林があることで
日常の生活が守ら
れてるんだね!



森は、裸地と比べて
雨水を地中に蓄える能力が**約3倍**

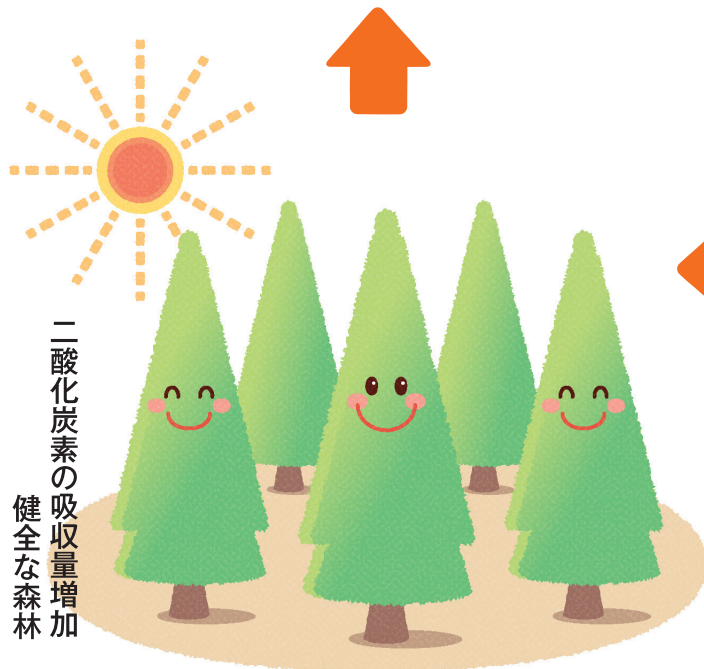
植林



人の手で気を植えます。



手入れ(間伐)しないと、森は過密になり健康な木が育たない…。



日光が地表に届くことで健康な木が育ちます。



間伐とは？
木の成長に伴って混みすぎた立木を間引くこと。

山の大切な役割を守るために

森林循環

MEMO

手入れが行き届かないと

- 樹木は細く、根も発達しない
- 下草が生えない為、土壌が失われ土砂崩れが起こりやすい
- 二酸化炭素の吸収量低下
- 森林に関わる働き手の減少による農山村地域の活力低下

手入れが行き届いてると

- 幹が太くなり、根も発達
- 下草が生え、土壌を保持し、土砂崩れ等防止
- 二酸化炭素の吸収能力向上
- 間伐材のニーズが広がり働き手が増加し農山村地域が活性化

マメな手入れが僕たちの安全な生活を維持してるんだね!



【 広葉樹 】

堅い木が多い



扁平な形の葉

けやき くり なら
欒・栗・檜・他

ラワン・オーク
ウォールナット・他

国産材

輸入材

【 針葉樹 】

柔らかい木が多い



先がとがり細い葉

すぎ ひのき まつ
杉・檜・松・他

ラジアタパイン
べい まつ べい つが
米松・米母・他

山の役割を支える多くの木

木の種類

MEMO

木材には数多く種類があります。それぞれの特性によって、建築用材・家具・楽器など用途は様々あります。

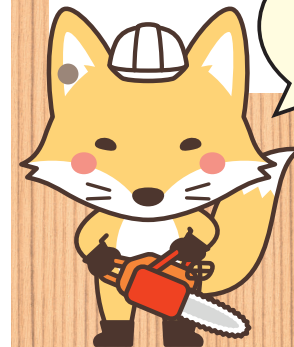
木材と言っても様々

- 針葉樹と広葉樹
- 国産材と輸入材
- 育つ環境により種類も様々

木の状態で主な利用

- 建築用材
- 家具・小物
- 楽器

世界中にはなんと
60万種以上の樹木
があるんだって!



1. 伐採～搬出



山で育った木は伐採され、その場で枝葉を落とし、更にある程度の長さのカット(玉切り)されてから運搬されます。

2. 仕入れ(競り)



原木市場等を集められた丸太は、競りによって落札され、製材所などが購入していきます。また、山から直接製材所などへ運ばれるケースもあります。

3. 製材～加工



製材所などでは、丸太の状態から、皮を剥いで用途にあわせた用材に加工します。

4. 製品搬入



家の材料(構造材・内装材)や家具の材料として、職人さんたちの手によって幅広く使用されます。

成長した木が製品になるまで

丸太～製品

MEMO

山で育った木は50年ほどすると伐採されて、私たちの生活に必要なものに生まれ変わります。

伐採・造材・搬出

木材市場で競売

製材・乾燥・加工

納入業者へ搬入

林業、市場、製材、加工、組立など色々な人たちが関わってるんだね!



家



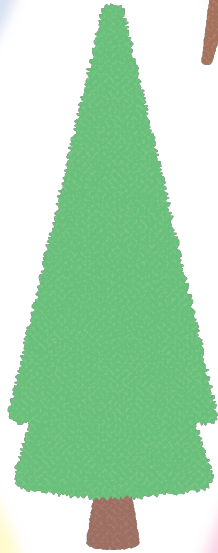
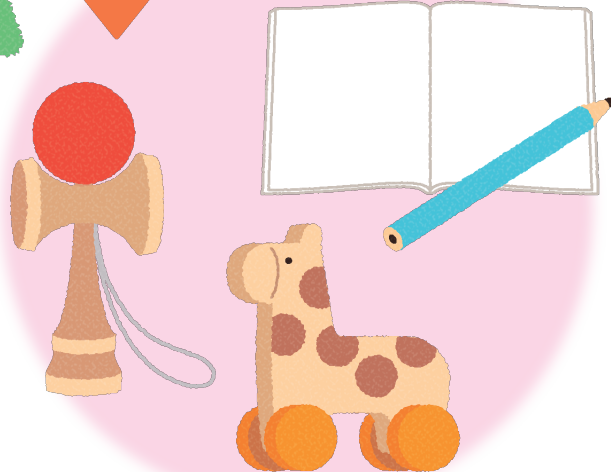
家具



食器



その他



私たちの生活の中の木製品

主な使い方

MEMO

木材には、様々な用途(使い方)があります。自分の家や、毎日使っているもの、学校や会社に通う途中の風景、その他いろんな所を見まわしてみてください。今まで気付かなかった所や意外な場所に木が使われているかもしれませんよ!

- 構造材(土台・柱・梁・桁等)
- 内装材(天井板・壁板・床板等)
- 家具(タンス・テーブル・椅子・収納・テレビ台等)
- 食器類(皿・箸・スプーン等)
- その他(鉛筆・楽器・おもちゃ等)

意識して「木材」で
できてる物を見つけてみよう♪



形を変えて生まれ変わる木材

再生可能資源

MEMO

木材は再生可能な資源です。古くなった木材を、表面だけ削れば、また新しい材面が顔を出します。腐ったりしない限り、何度でも再生可能です。最近では、古くなった木材(板材)をわざと床材や壁材に使用する(アンティーク的価値)ことも多くあります。また、現在は、材料として使用できない端材(枝等)を、燃料として使用しています。

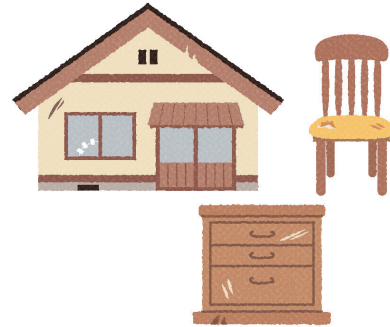
こんなに沢山の使い道があるなんて。大切に使おうね。



古くなった家や家具など

メンテナンス

古材再利用

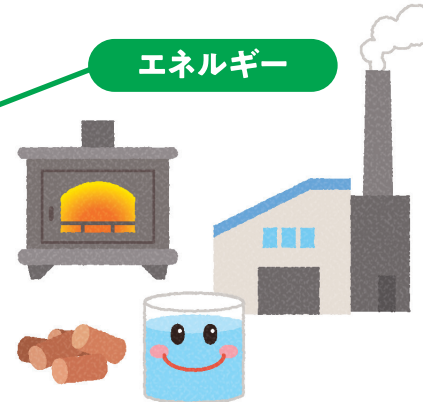


削ることで再生

解体して
リサイクル

エネルギー

建築材



ペレット、バイオエタノール等

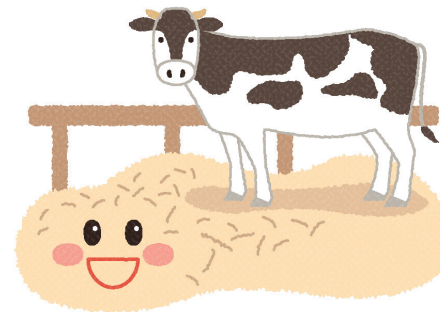


合板、パーティクルボード、MDF等



酪農

農業

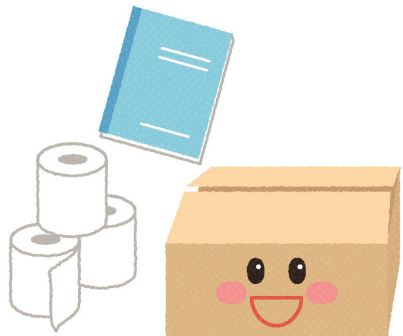


敷料



バーク等の肥料

紙製品



ノート、ダンボール、トイレトペーパー等

日常生活の中の主な効果

断熱

防虫

防音

目に優しい

リラックス

調湿

衝撃緩和

木は人により影響を与えている

木の効果

MEMO

木材には、様々な効果があります。
例えば日常生活の中では主として
7つの効果が挙げられます。

1. リラックス(心身を健康に保つ)
2. 調湿(適度な湿度に保つ)
3. 断熱(熱を遮断する)
4. 衝撃緩和(衝撃を和らげる)
5. 目に優しい(紫外線を吸収する)
6. 防音(大きな音を和らげ、まろやかにする)
7. 防虫(害虫の行動を抑制する)

木製品の香りや感触、温もりは心の安らぎになるんだね♪



長野県木材青壮年団体連合会

第43回 長野県児童・生徒 木工工作コンクール受賞作品



最優秀賞
(長野県知事賞)

森の音楽隊
白倉 大雅

東御市立滋野小学校3年



最優秀賞
(長野県知事賞)

雲海の龍神
高橋 鼓陽

南木曾町立南木曾小学校5年



最優秀賞
(長野県知事賞)

Tensegrity Lamp
脇田 潤

原村立原中学校3年



長野県
教育委員会賞

下馬橋(たいこ橋)
大村 耀介

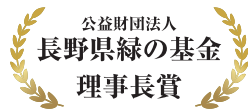
下諏訪町立下諏訪北小学校4年



長野庁中部森林管理局
局長賞

五宮神宮 子供みこし
森 結衣花

南木曾町立南木曾小学校6年



公益財団法人
長野県緑の基金
理事長賞

食事セット
内堀 世椰

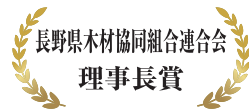
御代田町立御代田北小学校4年



長野県産材振興対策協議会
会長賞

がんばれ 別所線!
真田 悠煌

上田市立城下小学校3年



長野県木材協同組合連合会
理事長賞

オオタカ
山村 春人

塩尻市立宗賀小学校5年



長野県木材青壮年団体連合会
会長賞

のどかな風景・郷(さと)
白倉 陽彩

東御市立滋野小学校6年

木の新たな価値を創造する

木工工作

MEMO

小さいころから木に親しみを持つこと、木育においてはとても大切なことです。

その一つとして、木から何かを作ること(木工工作)、木を身近に感じ、木に親しみをもってもらえるような取り組みは、とても重要であると考えます。

木青連では、毎年、木工工作コンクールを開催しており、木を通して工作を行うことで、子供たちが木と触れ合い、身近に感じ、親しみを持ち、将来的に木の大切さを理解してもらうための取り組みを行っています。

とても豊かな発想の作品ばかり♪



長野県産材活用事例

■朝日村役場 東筑摩郡朝日村大字古見1555-1



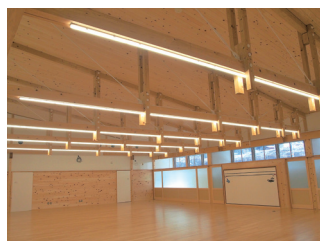
■長野県立武道館 佐久市猿久保165-1



■豊野高等専修学校 長野市豊野町豊野1344



■木曾町役場 木曾郡木曾町福島2326-6



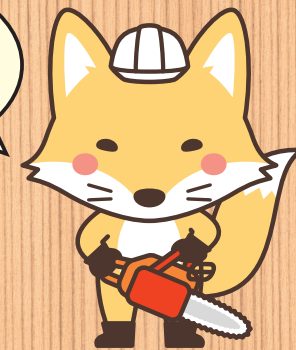
建築物における

木材活用

MEMO

現在、日本全国にある多くの建築物に、木材が利用されています。その中には、今までは利用できなかった建物にも積極的に木材の活用が始まっており、国も木材の利用推進を後押ししています。

木材は加工しやすいから、自由なデザインができるんだね♪



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



日本木青連の取り組み 木とともにある社会を

MEMO

SDGs(エスディーゼズ)とは?

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

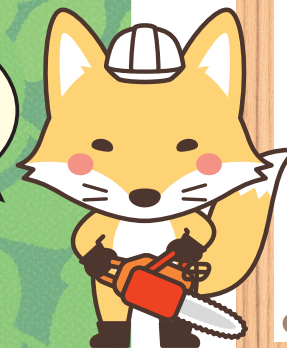
日本木青連は、持続可能な「木とともにある社会」の実現に向かって、日々活動に取り組んでおり、その実現のために、国際連合が2015年に定めた「SDGs」の理念に賛同しています。

この「SDGs(エスディーゼズ)」には、17の目標(ゴール)と169のターゲットがあります。木とともにある社会を実現させるには、林業、木材産業界において、それぞれの企業が、それぞれの場所で行動していくことが大切であり、使命感をもった自発的な行動こそが重要であると考えます。その行動の一つとして、幼いころから、木を意識して過ごすことで、人と、木と山や森との関係を主体的に考えることができるような人間を増やすことが、近い将来「木とともにある社会」の実現に寄与することができ、そのために、「木育」が重要な役割を担っていると考えます。





日本人は昔から
木と一緒に生きて
きたんだね♪



木との繋がりが深い日本人

人と木

MEMO

日本は、古来より山や木を敬い、手入れをして、山を育てきた文化・伝統があり、このことは、古い文献(万葉集)にも記述されています。先人たちが繋いでくれた大切な資源(木材)を、今後、未来永劫、持続可能なものにするかどうかは、現在を生きる私たちの行動にかかっています。

日本木青連として、持続可能な木とともにある社会を実現するために、木のことを知り、木の良さを学び、木を理解する人を一人でも多く増やしていくこと、そして、木の文化の素晴らしさを伝え、木の新たな価値を創出し、人と森林と地球が調和する豊かな未来を創造することを目指しています。



長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 長野県長野市岡田町30-16 長野県林業センター3階

<https://n-msr.com>

長野県木青連



このパンフレットは、日本木材青壮年団体連合会の全面的な協力のもと、データ等を利用・作成しました。本事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。